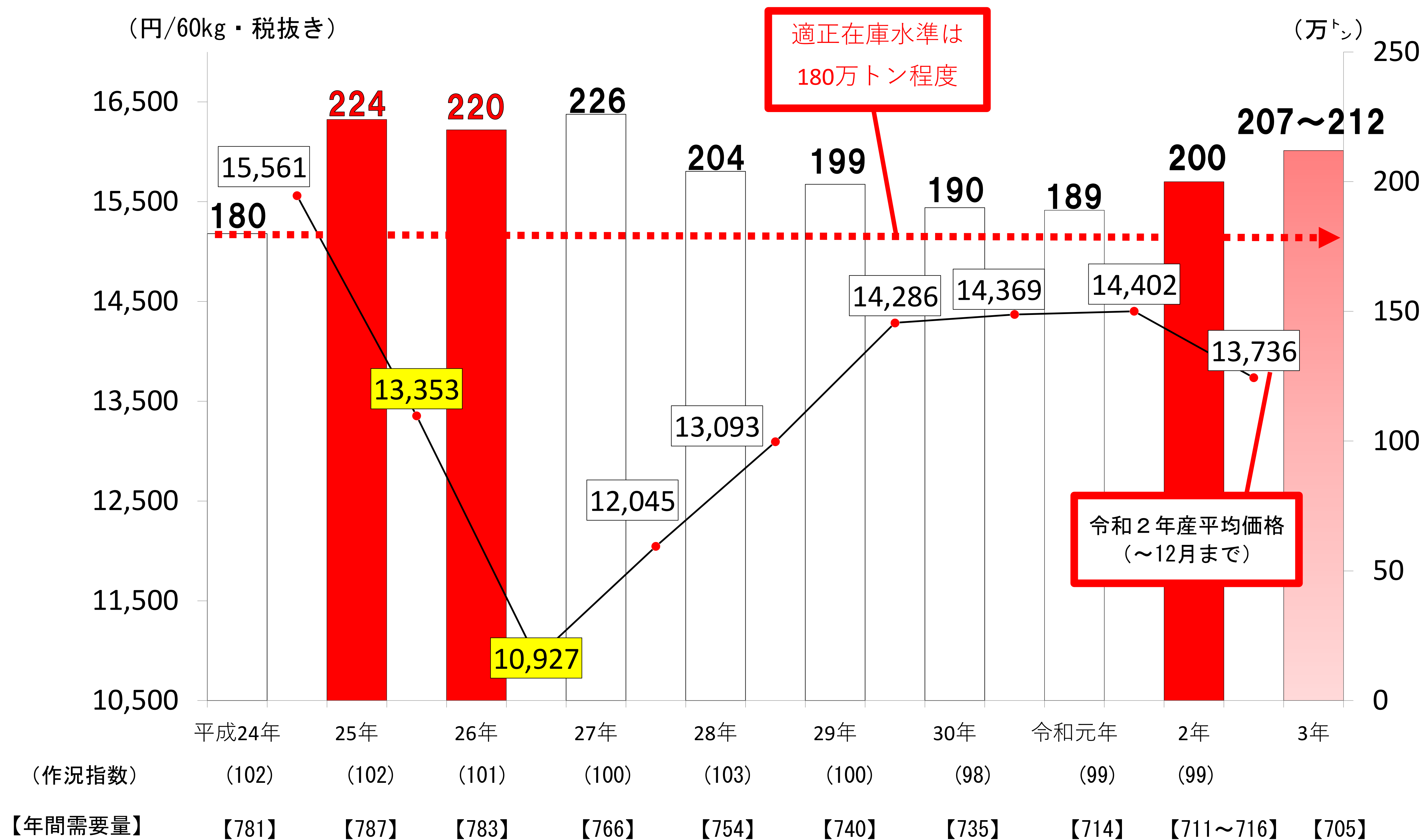


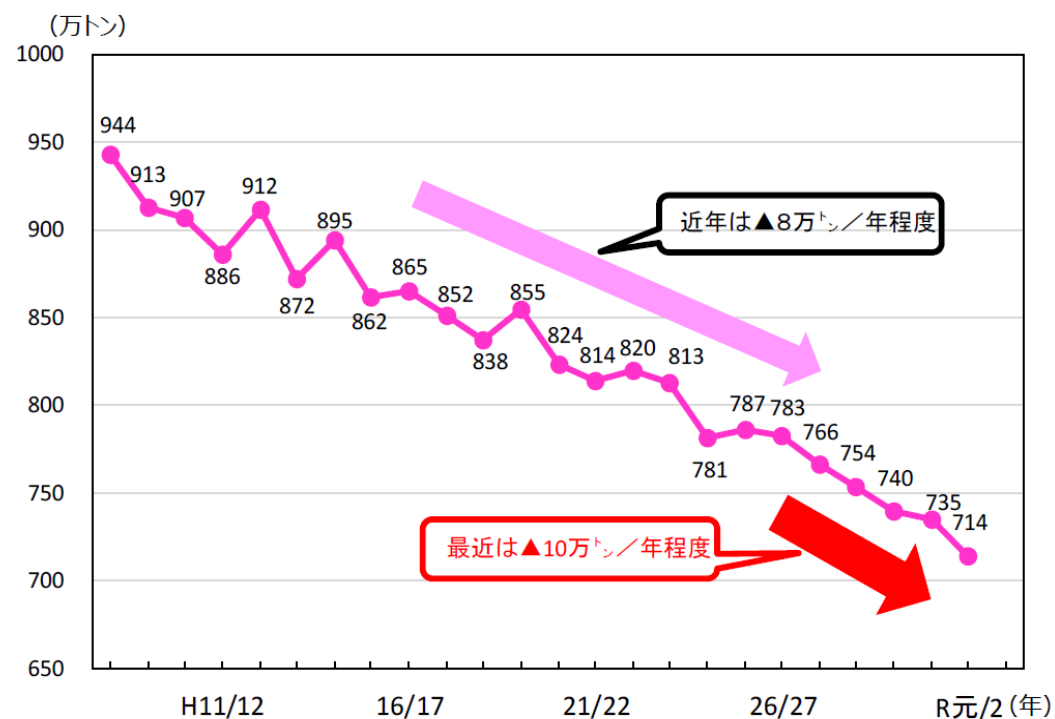
【主食用米における民間在庫（6月末）と相対価格の推移】



※相対価格より税・包装代控除。

令和3年3月16日 参議院農林水産委員会 自由民主党・国民の声 山田俊男
出典：全国農業協同組合中央会作成資料より

【主食用米の需要量の推移】



出典：農水省「米をめぐる関係資料（令和3年2月）」

【配合飼料原料に飼料用米を利用した場合の利用量（試算）】

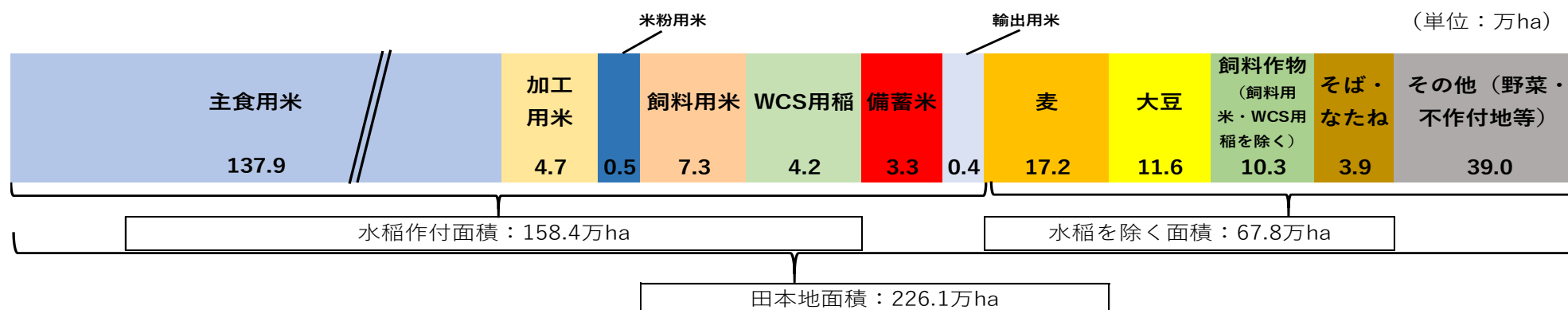
（家畜の生理や畜産物に影響を与えることなく給与可能と見込まれる水準）

区分	採卵鶏	ブロイラー	養豚	乳牛	肉牛	合計
配合飼料生産量	649万トン	386万トン	564万トン	303万トン	452万トン	
配合可能割合	20%	50%	15%	10%	3%	
利用可能量	130万トン	193万トン	85万トン	30万トン	14万トン	451万トン

資料：農水省調べ

出典：農水省「飼料用米の推進について（令和3年2月）」

【令和元年度水田の利用状況（作物別作付面積（二毛作含む延べ面積））】



出典：農水省「米をめぐる関係資料（令和2年7月）」より山田俊男事務所作成